11 月紹介する本

・『とにかく休め！』・自分の疲れ、見て見ぬふりをしていませんか？
・『東海道の宿場を歩く』・日本橋から沼津まで、この地図で、迷わないで歩ける
・『人間は料理をする生きものだ』・人間と動物と違いは、人間は料理ができる、食べられないものを、食べられるように工夫できる、それが人間だ
・『伝統の和食から現代の WASHOKU』・美しく切る、切るは調理の基本なのです
・『捨てる脳』・脳は集めるようにできている。記憶力が上がり、自分らしい人生が歩める！
・『「空腹」こそ最強のクスリ・究極の健康法』・１６時間断食で体がよみがえる
・『病気の９割は歩くだけで治る！』・医者に払うお金があるなら靴に使え！
・『みんなの節電生活』・大切なお金と暮らしを守るために電気代を抑えよう
・『わたしの名店』・おなかも心も満たされる。おいしい一皿に会いにいく
・『やさしくわかる食品ロス』・捨てられる食べ物を減らすために知っておきたい
・『ピーナッツ大図鑑』・スヌーピーとチャーリー・ブラウンと仲間たちのすべて
・『もっと知りたい 歌川広重』・情緒的な絵画世界こそが、広重には相応しい
・『北斎と広重　冨嶽三十六景への挑戦』・絵師として特別な環境にあったわけではなかった。その運命だから活動を続け、残る傑作を生み出せた。
・『クロード・モネ旅のための作品集』・モネは水の画家であり、旅の画家である
・『美しい日本の一文字』・先人が一つの文字にしたためた花鳥風月と心の文様
・『入門　山頭火』・ただの酒飲みか偉大な俳人か流浪する民が真実の僧か
・『鬼の筆』・戦後最大の脚本家橋本忍の栄光と挫折。圧倒的作品群を遺した
・『善医の罪』・家族同意のもと延命治療を中止。その後、麻酔医は告発され起訴される。医療 x 法廷サスペンス小説
・『まいまいつぶろ　御庭番耳目抄』・第九代将軍・徳川家重を描く落涙必至物語
・『風に立つ』・突然、非行少年を預かるという。父の行動が理解できない家族は…
・『シェイクスピア、それが問題だ！』・謎多き者、汝の名はシェイクスピア。シェイクスピアを楽しみ尽くすための百問百答。
・『恋する屁こき虫』・ちょっとヘンな図鑑。きらわれものだが、いいヤツ。臭い。
・『古生物動物園のつくり方』・古生物＆現生動物の専門家の叡智を結集した古生物の施設。想像しても恐竜は本当に飼育できるの？むりむりむり。。。。。。。。。。。。。
・『「走る図書館」が生まれた日』・アメリカで最初の移動図書館車。図書館に来られない人がいるなら、図書館が本を届ければいい！すごい逆転の発想だ
・『四日目の裁判官』・裁判官エッセイ裁判官は何に迷い、何を楽しんでいるのか？
・『発達障害・グレーゾーンのあの人の行動が変わる言い方・接し方事典』・使える
・『準備が整った人に、奇跡はやってくる』・望むことが現実になる心の法則
・『謎の老師が教える身体の基準の創り方　揺腕法』・長き武術修行し見つけた運動